



2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年7月31日

フィード・ワン株式会社

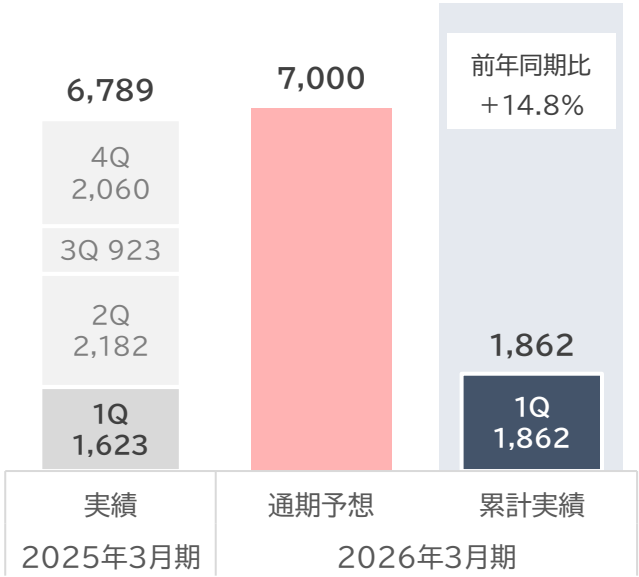
東証プライム 証券コード2060

飼料で食の未来を創り、命を支え、笑顔届ける

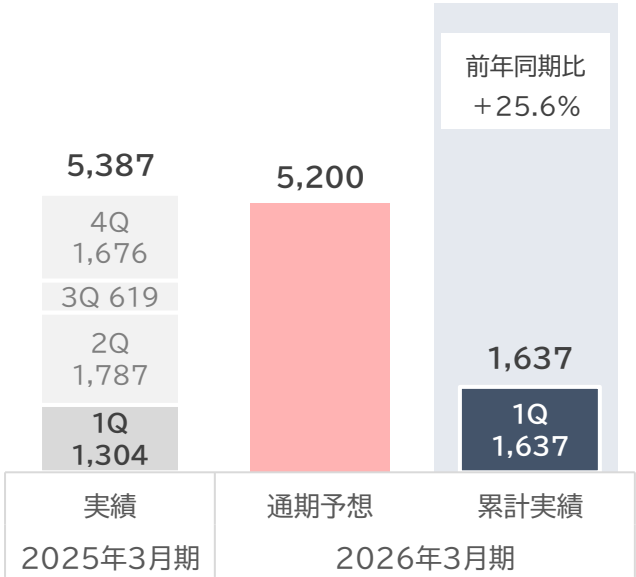
採算管理の徹底により販売数量が減少するも利益率は改善し、減収・増益

(百万円)

	2025.3期	2026.3期		
	1Q	1Q	前年同期比	進捗率
売上高	74,288	71,973	▲3.1%	23.1%
売上原価	66,483	64,111	▲3.6%	—
売上総利益	7,804	7,861	+0.7%	23.3%
販管費	6,507	6,385	▲1.9%	—
営業利益	1,297	1,476	+13.8%	21.7%
経常利益	1,623	1,862	+14.8%	26.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,304	1,637	+25.6%	31.5%



食品事業は減益も、畜産飼料事業、水産飼料事業は増益



子会社(空知管理サービス)清算により税負担が減少し増益

経営指標の進捗状況

経営指標：販売数量、EBITDA、ROE、ROIC、総投資額
※ROE、ROIC、総投資額は期末のみ掲載

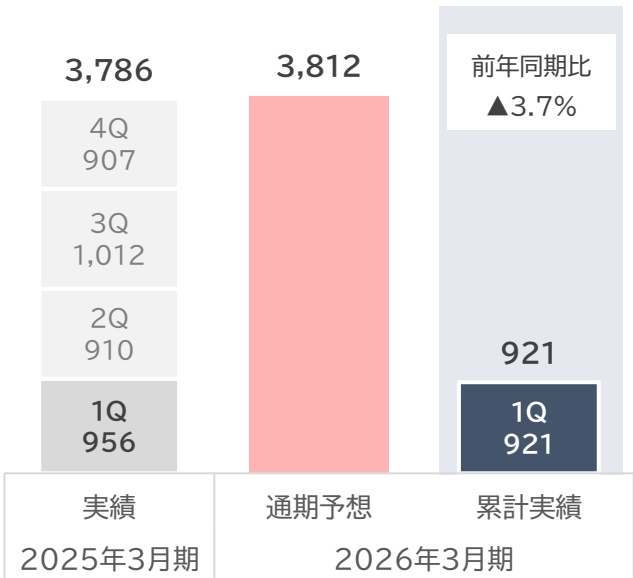
販売数量は減少も計画の範囲内。EBITDAも概ね計画通りに進捗

販売数量

921千トン

進捗率
24%

単位：千トン

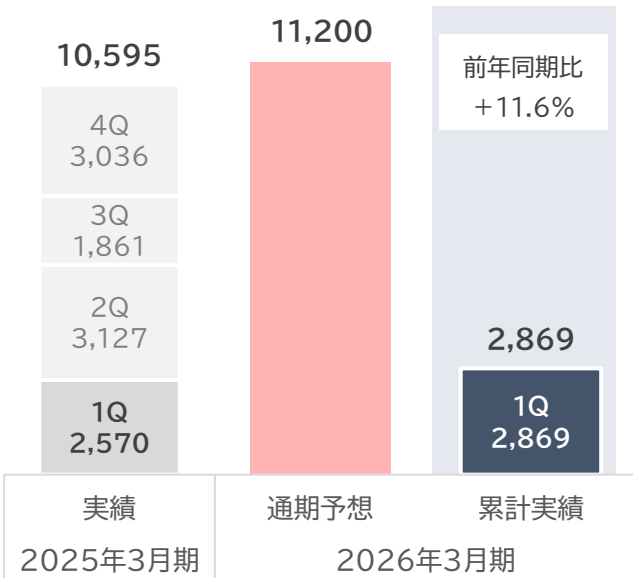


EBITDA

2,869百万円

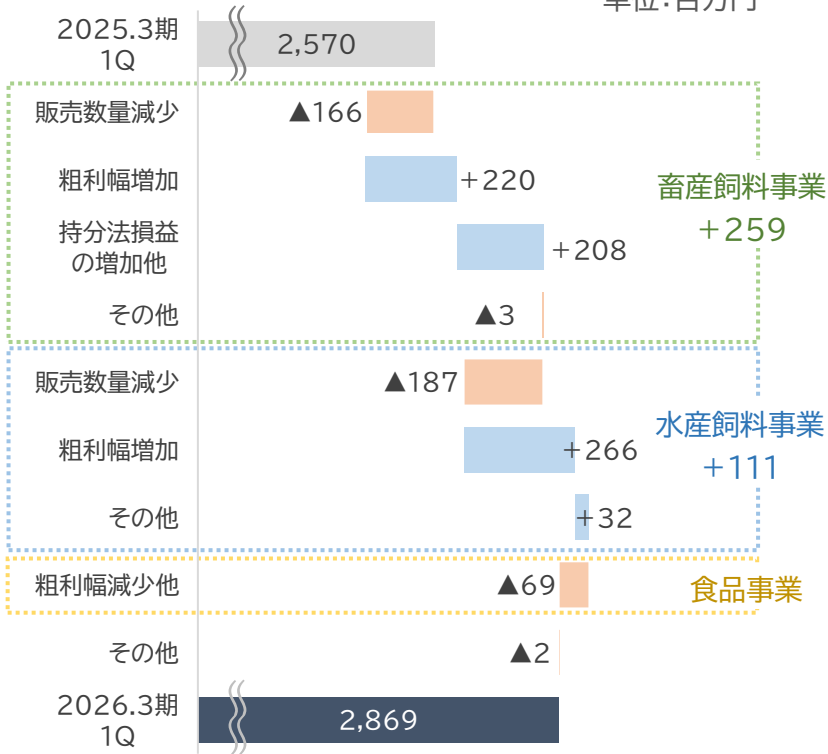
進捗率
26%

単位：百万円



EBITDA増減要因

単位：百万円



畜産：採算管理の徹底等により減少
水産：養殖魚の減少等により減少

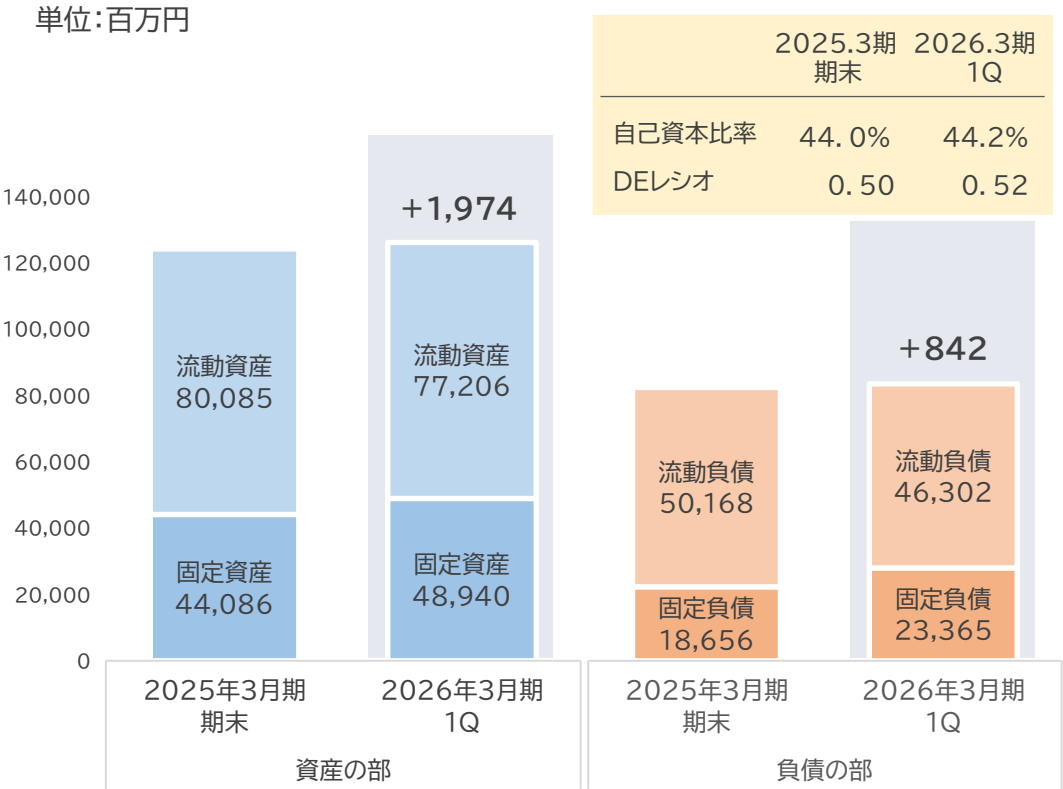


減価償却費に大きな変動はなく、飼料事業の粗利幅増加を主要因として増益

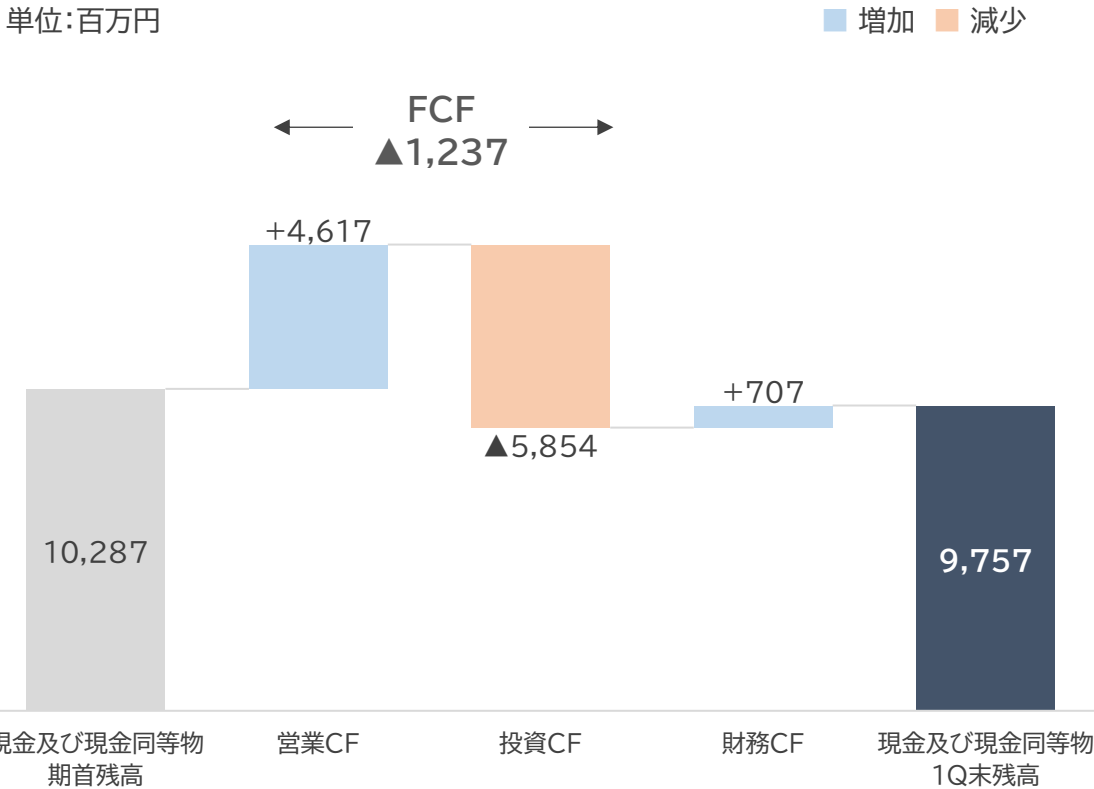
※EBITDA＝経常利益＋支払利息－受取利息＋減価償却費及びのれん償却費

今後の積極的な設備投資に対応すべく、総額100億円のシンジケートローンを締結（2025/6/25開示）

連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



今後の積極的な設備投資に対応すべく、総額100億円のシンジケートローンを締結。50億円の借入実行により長期借入金が増加

※自己資本比率＝自己資本／総資産 ※DEレシオ＝有利子負債／自己資本



投資CF)水産新工場の建設に関わる支出が発生
財務CF)長期借入 +5,000(シンジケートローン実行分)
短期借入 ▲3,060 配当金 ▲807

飼料事業は販売数量減少や畜産飼料の値下げにより減収も、採算管理の徹底や軟調な原料相場等により増益

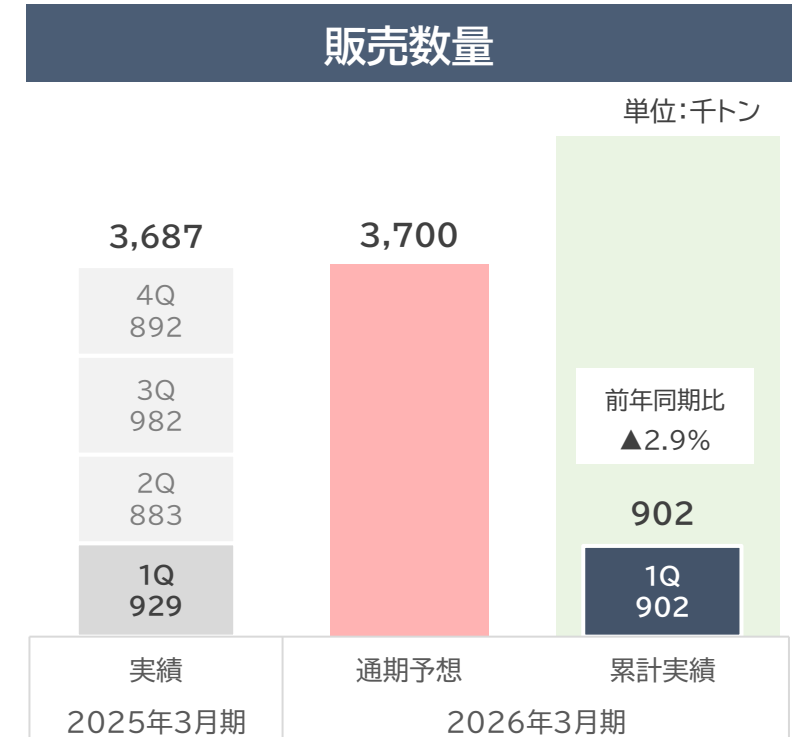
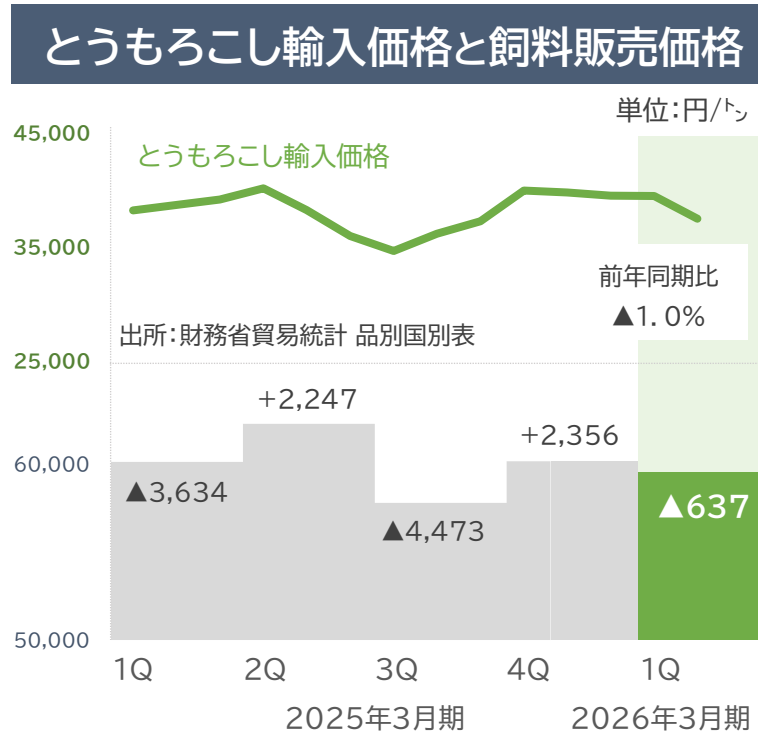
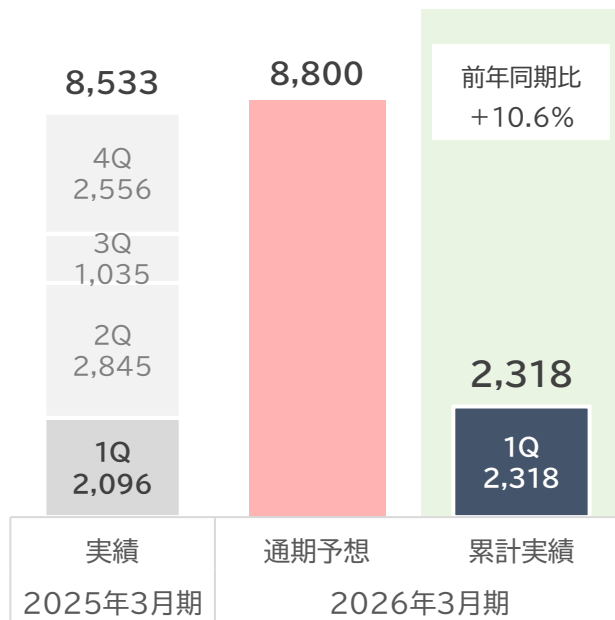
(百万円, %)

セグメント		2025.3期	2026.3期		
		1Q	1Q	増減額	前年同期比
畜産飼料事業	売上高	58,592	56,415	▲2,176	▲3.7%
	セグメント利益	2,096	2,318	+222	+10.6%
	EBITDA	2,722	2,981	+259	+9.5%
水産飼料事業	売上高	6,709	5,208	▲1,500	▲22.4%
	セグメント利益	205	302	+96	+47.0%
	EBITDA	330	442	+111	+33.8%
食品事業	売上高	8,982	10,345	+1,362	+15.2%
	セグメント利益	73	▲14	▲88	—
	EBITDA	113	44	▲69	▲60.7%
その他/調整額	売上高	3	3	+0	+5.8%
	セグメント利益	▲752	▲743	+9	—

※セグメント利益:経常利益ベース
※EBITDA:経常利益+支払利息-受取利息+減価償却費及びのれん償却費
※その他=海外事業及び不動産賃貸事業等、調整額=報告セグメントに配分していない全社費用

セグメント別業績／畜産飼料事業

採算管理の徹底等により販売数量減少も、利益率改善が進みセグメント利益は増益



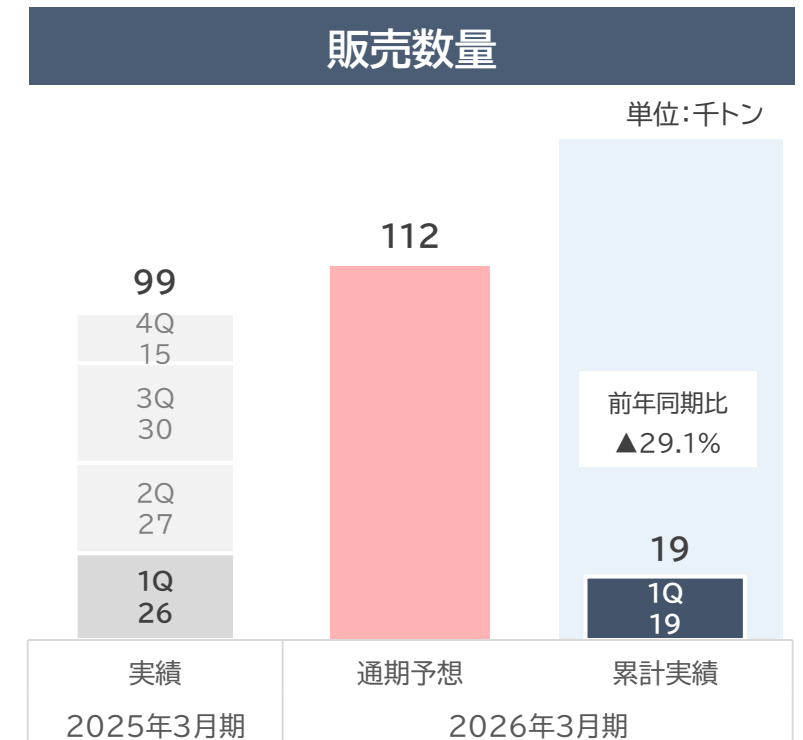
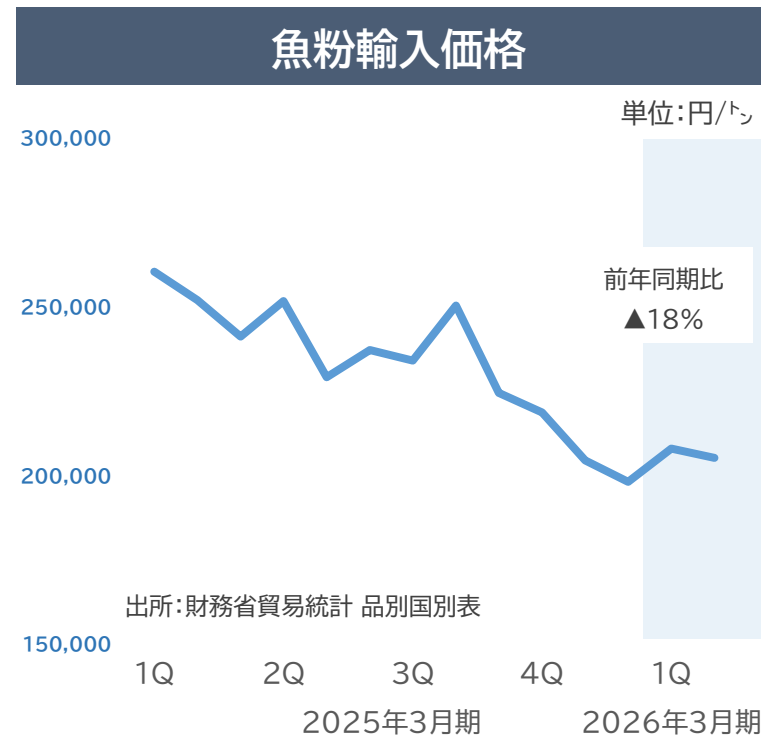
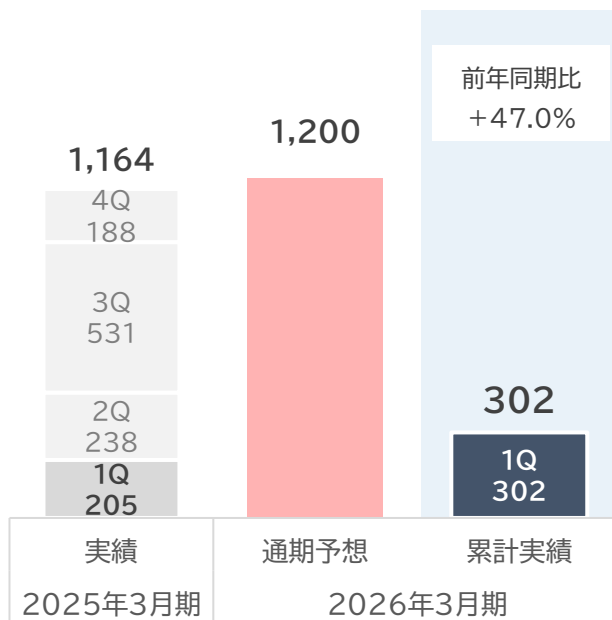
- セグメント利益 :採算管理の徹底と、とうもろこし相場が軟調に推移したこと等により利益率改善が進み増益
- 販売数量 :家畜伝染病や採算管理の徹底等により減少も、計画と大きな乖離なし
(参考)全国の畜産飼料販売数量は前期比▲2.4%(当社調べ)



採算管理の徹底等により販売数量が減少するも利益率が改善し増益

セグメント別業績／水産飼料事業

養殖魚減少と昨年の値上げ等が影響し販売数量減少も、軟調な魚粉価格とウナギ等の高利益製品の拡売により増益

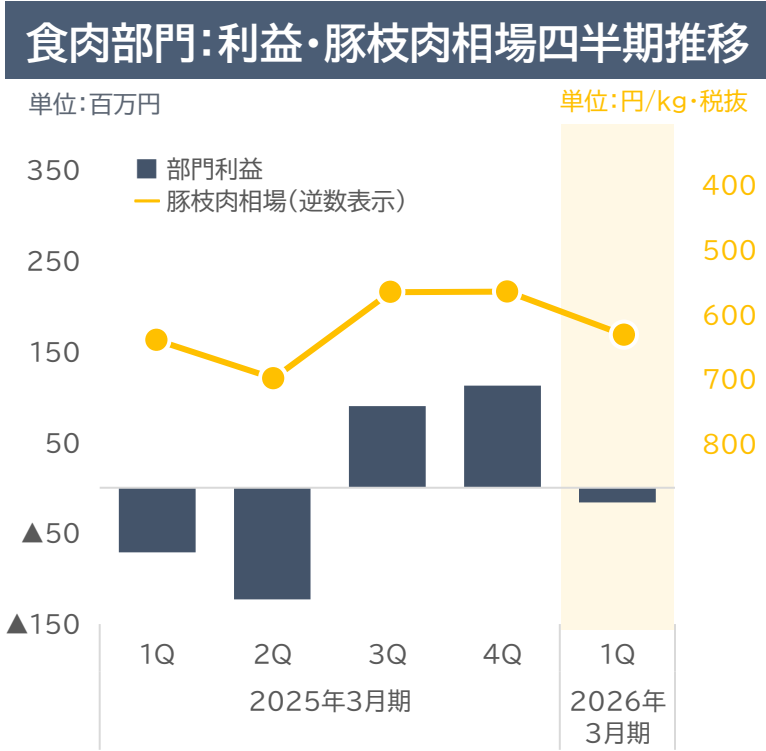
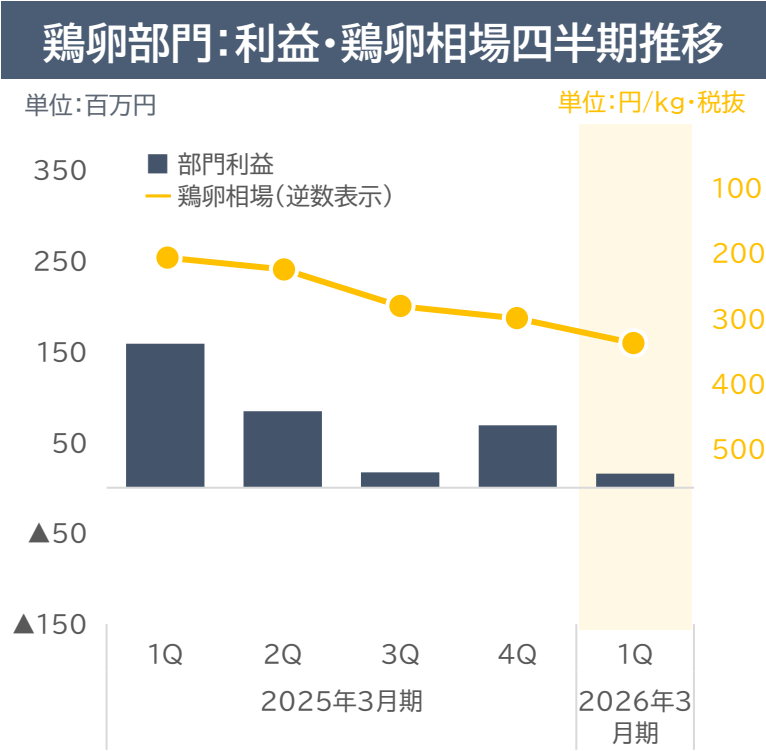
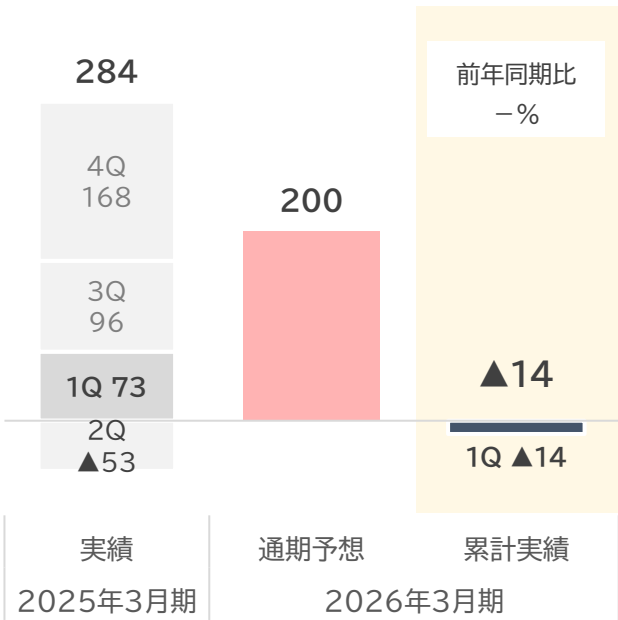


- セグメント利益 : 魚粉相場の軟調な推移に加え、ウナギ等の高収益製品の拡売により数量減をカバーし増益
- 販売数量 : 養殖魚減少(※)に加え、前年同期は値上げ前の駆け込み需要による数量増も影響し、大きく減少
(参考)全国の水産飼料生産数量は前期比▲16.7% (当社調べ) ※昨年の酷暑による養殖魚のへい死や生産性が低下した影響



販売数量が減少するも魚粉相場の低下やウナギ等の高利益製品の拡売により増益

鶏卵・豚枝肉共に相場が高騰。収益構造の強化を進めるもセグメント損失を計上



- 鶏卵部門)鳥インフルエンザの拡大から鶏卵の供給が逼迫し相場が続伸。価格転嫁の期ズレにより減益
[参考]2025年6月平均340円/kg ※エッグショックと言われる2023年の最高値が350円/kg (JA全農たまごM基準値/東京)
- 食肉部門)昨年の酷暑等の影響から出荷頭数が減少し相場上昇。収益構造の強化により赤字幅圧縮



相場高騰により売上原価が上昇。食肉部門では赤字幅圧縮も損失計上

通期業績予想に変更なし

(百万円)

	2025.3期	2026.3期		
		5月8日開示	増減額	前年同期比
売上高	296,045	311,000	+14,954	+5.1%
売上原価	264,171	277,200	+13,028	+4.9%
売上総利益	31,874	33,800	+1,925	+6.0%
販管費	25,531	27,000	+1,468	+5.8%
営業利益	6,343	6,800	+456	+7.2%
経常利益	6,789	7,000	+210	+3.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,387	5,200	▲187	▲3.5%

2Qの市場環境と取組み



暑熱影響等の懸念はあるが、フィード・ワングループとしては計画通りでの折り返しを見込む

畜産飼料事業



暑熱による家畜の夏バテ等が懸念されるが、競合優位性のある暑熱対策等の差別化製品の拡売に注力し収益確保

水産飼料事業



稚魚の導入により養殖魚尾数は徐々に回復見込。魚粉相場の低下に伴う売価見直しが進むが、数量拡大と製造の効率化を進め収益確保

食品事業



暑熱等による家畜の生産性低下で相場は高値推移を見込む。相場影響を抑えた販売を進め収益確保

組織再編や資産売却を進め、経営資源の最適化を推進

組織再編

○ 飼料製造子会社の自工場化(2025年4月)

- ・連結子会社であった苫小牧飼料(現 苫小牧工場)と東北飼料(現 八戸工場)を吸収合併

○ 子会社の清算終了(2025年6月)

- ・空知管理サービス(2024年12月解散)の清算終了

○ 飼料販売会社の統合決定(2025年10月1日予定)

- ・岩手フィードワン販売と八戸フィードワン販売を統合予定(商号:東北フィードワン販売)
- ・鹿島フィードワン販売と東海フィードワン販売を統合予定(商号:鹿島フィードワン販売)

関係会社数

2025.3時点

32社



2025.10時点(想定)

27社

2025年3月期決算説明会
資料もご参照ください

(QRコードはリンクにもなっています)



資産の売却

○ 遊休不動産等の売却

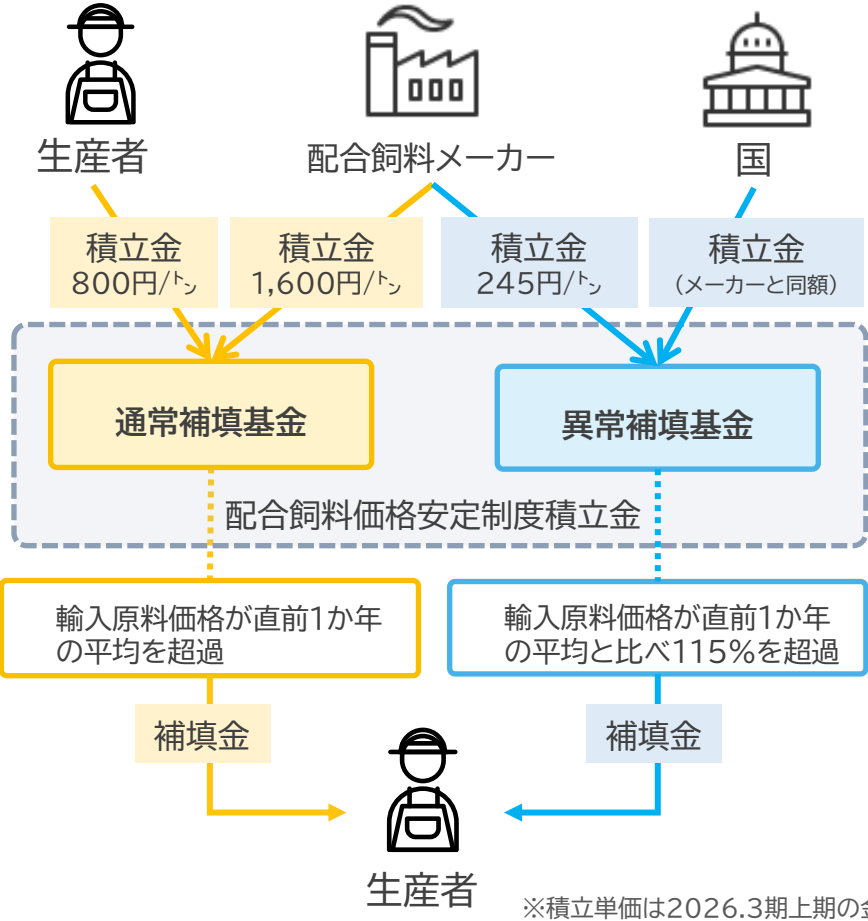
- ・福岡県北九州市門司区の工場跡地を含め3か所の遊休不動産等を売却。(売却総額:580百万円/売却益:47百万円 ※特別損益に計上)

appendix

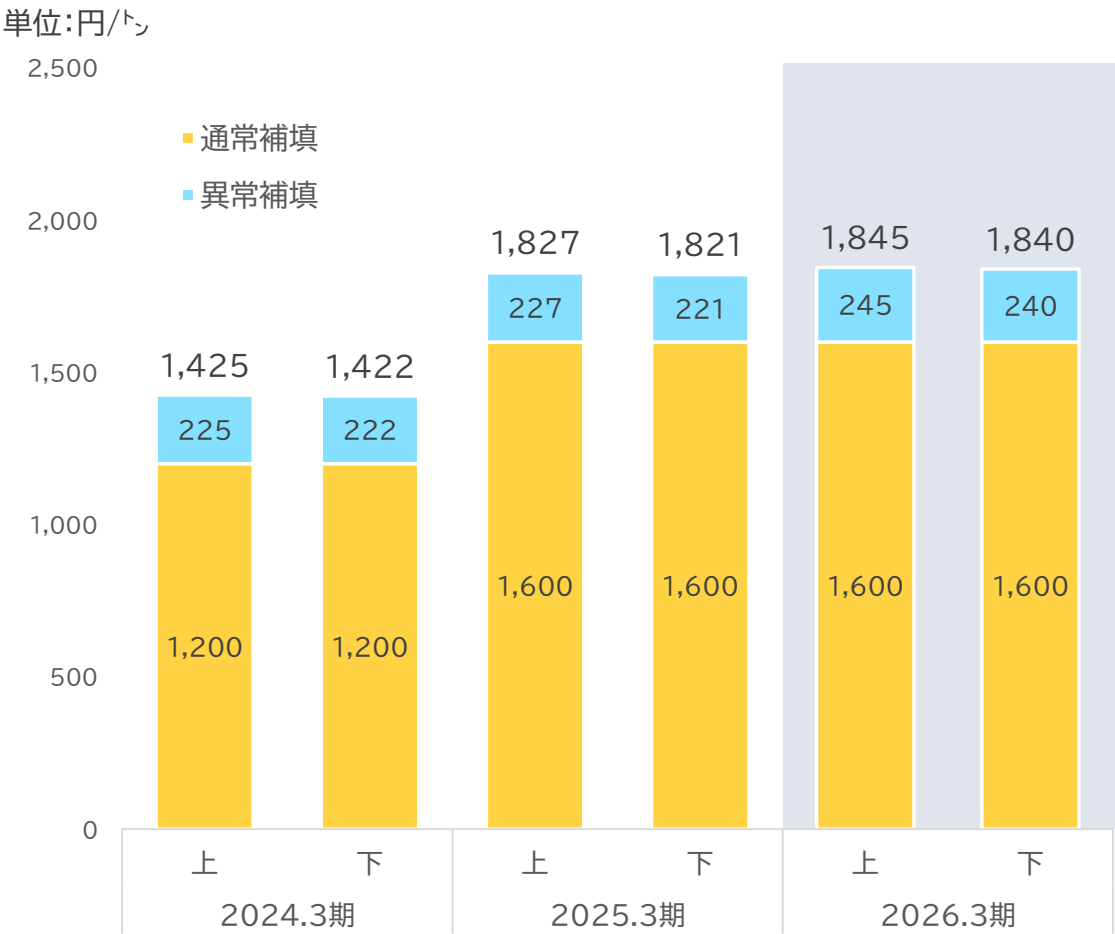
配合飼料価格安定制度積立金

輸入原料の急激な価格上昇が畜産生産者の経営に及ぼす影響を緩和する制度

制度の仕組み



積立金(配合飼料メーカー)



2026年3月期												2027年3月期		
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
● 2025年3月期 決算発表			● 2026年3月期 第1四半期決算発表			● 2026年3月期 第2四半期決算発表			● 2026年3月期 第3四半期決算発表			● 2026年3月期 決算発表		
● 2025年3月期 決算説明会			● 企業調査レポート			● 2026年3月期 中間期決算説明会 及び事業説明会			● 企業調査レポート					
● 有価証券報告書						● 統合報告書						有価証券報告書 ●		
● 第11期定時株主総会												第12期定時株主総会 ●		
			● 中間配当基準日						● 期末配当基準日					
5/8	2025年3月期 通期決算発表		7/31	2026年3月期 第1四半期決算発表		10/31	2026年3月期 第2四半期決算発表		1/30	2026年3月期 第3四半期決算発表				
5/20	2025年3月期 通期決算説明会		7/31	企業調査レポート		11/18	2026年3月期 中間期決算説明会 及び事業説明会		1月末	企業調査レポート				
6/17	有価証券報告書													
6/20	第11期定時株主総会													

IR面談のお申込みは ir@feed-one.co.jp まで（スピーカー/取締役常務執行役員 窪田）

※IR naviやみんせつでの設定も対応しております

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません
また、様々な要因の変化により実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おき下さい

当資料に関するご質問・お問い合わせにつきましては、弊社のIR代表アドレス宛
(ir@feed-one.co.jp)にご連絡ください。

